

2016 年度首都大学東京女性大学院生研究奨励賞 応募者募集要項

1 目的

本賞は、女性大学院生の意欲的な研究活動を奨励し、今後も継続的に研究に取り組む動機づけとしてもらい、女性研究者の裾野を拡大することを目的とする。

日本における女性研究者の割合は主要先進国の中で最も低い水準にある。この現状を前にして、多様性の確保による研究・組織の創造的発展及び実質的な機会の平等という観点から、女性研究者の裾野を拡大することが必要とされている。

本学は、ダイバーシティ（多様性を尊重すること）を推進するため、2011 年 3 月にダイバーシティ推進宣言を行い、2011 年度から 2016 年度までの 6 年間の計画期間とするダイバーシティ推進基本計画を策定した。ダイバーシティ推進基本計画は、ダイバーシティ・男女共同参画の推進を明示し、女性研究者育成の環境改善を目指すとしている。このダイバーシティ推進基本計画に基づき、2015 年、本学における若手女性研究者支援の一環として、本賞を創設した。

2 応募資格

本学の博士後期課程に在籍する女性（休学中の者を含む）

3 選考基準

受賞者は、応募書類として提出する主要業績 1 点の各研究分野における重要性、今後の研究活動への意欲・見通し、これまでの研究成果及びプレゼンテーション能力によって、総合的に選考される。

4 表彰

(1) 最優秀賞（1 名） 賞状と副賞を授与する。

(2) 優秀賞（3 名程度） 賞状と副賞を授与する。

ただし、最優秀賞及び優秀賞は、該当者なしとすることがある。また、優秀賞に次ぐ賞として、特別賞を授与する場合がある。賞金の総額は 50 万円以内とする。

5 応募書類

応募者は、以下の 3 点の書類を提出する。

(1) 応募用紙

(2) 指導教員の推薦書

(3) 既発表の主要業績（論文または著書）1 点 1 部

応募用紙及び推薦書については、「12 応募書類作成上の注意点」に則り作成する。

応募者が提出する既発表の主要業績 1 点（以下、「主要業績」と記す）については、原本またはコピーを 1 部提出する。共著の場合は、応募用紙内の該当欄に応募者の担当部分を明記する。主要業績は、2013 年度以降に発表されたものに限る。応募時点で学会誌等に掲載が決定している業績も提出できるが、その場合は掲載決定を証明する書類を添付する。修士学位論文は不可とする。主要業績は、現在ないし今

後の応募者の研究と関連するものであることが望ましい。

応募書類は原則として返却しない。主要業績として提出した著書の返却を希望する場合は、その旨別紙に記載して応募書類とともに提出する。

6 提出方法

応募者は、首都大学東京ダイバーシティ推進室宛てに、応募書類を郵送または学内便で送付する。

7 応募受付期間

2016年6月13日から7月8日まで

8 選考方法

第一次審査（書類審査）及び第二次審査（プレゼンテーションによる審査）を行い、受賞者を決定する。なお、第二次審査は2016年9月23日（金）に実施する。

9 選考結果の通知と公開

第一次審査の選考結果は、2016年8月初旬までにすべての応募者に通知する。第二次審査の選考結果は、2016年10月初旬に第二次審査の対象者に通知する。選考結果は、ダイバーシティ推進室ウェブサイト及び表彰式を通じて公開する。

10 表彰式

2016年12月に表彰式を行い、受賞者に賞状及び副賞を授与する。表彰式において、受賞者は研究活動についての発表等を行う。

11 その他

- (1) 応募書類（応募用紙・推薦書）は、ダイバーシティ推進室ウェブサイト（<http://www.comp.tmu.ac.jp/diversity/index.html>）からダウンロードすることができる。
- (2) 応募書類に記載された個人情報、本賞の選考及び本賞に関わる連絡にのみ使用する。第三者には個人情報を提供しない。
- (3) 本賞の選考において評価の対象となるこれまでの研究活動・主要業績は、本学で行われたものに限定されない。ただし、評価の対象となる主要業績は、本学における応募者の研究と関連していることが望ましい。

12 応募書類作成上の注意点

12.1 応募用紙

- (1) 応募用紙は、指定の様式（様式1）により、応募者本人が作成するものとする。
- (2) 応募用紙の様式を変更すること、並びに応募用紙に新たな用紙を付け加えることは、原則としてできない。

- (3) 応募用紙は、日本語または英語で作成するものとする。
- (4) 文字の大きさは、10ポイント以上とする。
- (5) 応募者は、応募用紙の応募者氏名欄に押印または署名する。

12.2 指導教員の推薦書

- (1) 推薦書は、指定の様式（様式2）により、応募者の応募時点での指導教員が作成するものとする。
指導教員が複数いる場合は、そのうち1名が推薦書を作成するものとする。
- (2) 推薦書の様式を変更すること、並びに推薦書に新たな用紙を付け加えることはできない。
- (3) 推薦書は、日本語または英語で作成するものとする。
- (4) 文字の大きさは、10ポイント以上とする。
- (5) 指導教員は、推薦書の指導教員氏名欄に押印または署名する。
- (6) 推薦書は角2封筒に厳封し、封筒表面に応募者名と指導教員名を記す。

13 応募書類の提出先・本賞に関する問い合わせ先

首都大学東京ダイバーシティ推進室（女性研究者支援担当 特任研究員 藤山新）
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 図書館本館1階
Tel: 042-677-1337 (ext. 2571) E-mail: diverwww@tmu.ac.jp

以上